

水野政次郎

社開新務常所行現
九五町南町平縣島福
次藤藤伊人行發
一遊吉町道小縣島福

刊夕日六十月七
一ヶ月三十錢
一ヶ月二錢
廣告料 一行五十錢
場所指定 十錢増
日曜祭日翌日休刊

中之作港繼續工事を 關係者出縣嘆願

中之作港は昭和七年度縣興場保管並に修繕等の場合
費支辨港に推定せられ、工に懸釜石巻方面に委ねる實
費金十五萬圓を以て二ヶ年を以て爲數百圓を要する等
繼續に依り土木匠敷事業との見積をなし其の不利益不
して起工せられたものにならざるや、又尙一定の
て、更に昭和九年度に於て、魚市場設置の適當な
金七萬五千圓を以て該工事を、魚市場設置の適當な
を繼續施行せられた。
爾來工事者々願調に進行し年度に於ては浸漬殘余の部分
本町の光榮とするところで、尙ら如上の欠陥
を補足せんとする、希望よ
あつた。
然るに本工事としては船付り、町長其の他漁業關係者
場の浸漬區域に狭小にし、敷名出縣し嘆願したもので
て現在二十噸級以上百噸級以上
内の五十余隻の地元漁船を尙東北振興事務局長調査會
完全に收容し得る能力を有長並に内務農林の兩大臣當
しないばかりでなく、船曳で嘆願書を出したものであ
場の設備なき爲、体漁中の。

小名濱海水浴場に關する 衛生座談會

十八日小學校講堂に於て
小名濱町海水浴場衛生並
一般衛生に關する座談會
は七月十八日午後一時より
小學校講堂に於て開催され
る、當日は町衛生主任齋藤
氏を始めとして七十余名の
各關係者が出席するの相
當の盛大さを極めるものと
見られる。

期間中に閱覽せよ 選挙名簿は廿日から公開

愈々縣會議員選挙も余す
ところ二ヶ月に迫れり
平町役場に於て選挙人名簿
の調製を急ぎ、この提出來
上つたので来る二十日か
十五日間從覽せしめる事に
なつた。
其の後資格者十八日迄届出の事
因に市町村制の改正に依
り従來年齢及居住の計算基
明治四十二年九月十六日
付申請の十一月一日執行の
國勢調査區域が七月十二日
認可された。

江名町國勢調査 區域設定

江名町役場では六月十五日
町役場内受驗壯丁五十三名
で昨年よりは三名減少であ
る。

産業組合設置 縣でこれを勸奨

縣では昨十五日午前十時
から郡内十ヶ村に對し未だ
産業組合のなきところから双
相二部の各關係者を併せて
團體事務所を招き小田切
濟更正課長、池田支會副會
長、同渡邊主事、縣中西主
事の外縣販賣關係者臨席の
下に種々これが設置の促進
を指示協議した。

玉川村の 鑛毒問題ケリ

豫て紛争に紛争を重ねて
きた瀧水上流の小野田炭
鑛々主戸部光衛氏その他に
對しその損害を請求中であ
つたが昨十五日炭鑛側より
金一千五百圓を提議し今後
如何なる理由ありとしても
これにて一切の賠償となる
條件の下に圓滿解決のはこ
びとなつた。

田中澤二氏來る

立憲發正會總裁田中澤二氏
は十四日加藤幹事長等引具
し湯本町に來り十四日午後
六時より松栢館に於て會
の大懇親會を催した。
因に郡支部長齋藤昇氏の縣
會出馬は事實として表面化
するものゝ如し。

縣下養豚 衛生協議會 郡山で開催

十九日郡山で開催される
縣下養豚衛生協議會に本町
出席者は 飯塚榮一郎
齋藤組合長 坂本美藤
齋藤主任 齋藤昇一
衛生主任 齋藤昇一
氏等の三名

水野政次郎氏 (25)

水野氏は現小名濱漁業組合
長として町の代表的人物と
して斷然頭角を現して居る
勝つた人の通例ではあるが
第一人者である。
現在の水野氏の立場より通
観して性格十情熱の氣分を
して居るが誰か判つて居る
人は無名で差支ないから御
投書を願ます勸善懲惡は國
家の大本ですからネ

不便を感じてゐた 舞踊稽古所着工 平新田町の中央に

平町遊藝屋組合では今回新
田町の真中に工費三千餘圓
を投じ、總二階四十六坪の
舞踊稽古所を設ける事にな
り目下工事を進行中來月上旬
頃竣工の豫定である。従來年
定まつた舞踊稽古所が無いま
さを遺憾に思ひ事毎に不便
を感じてゐた遊藝屋組合が裏
面には甘い舌なめつりし
を感ぜしむる筈である。官
林盜伐野荒し

淋病 妙薬 淋丹

淋病 妙薬 淋丹
十日分
販賣元 小名濱町中島本通
シライシヤクホ

漁だより

小名濱 魚市場調査
魚名 魚獲高 單價割
カツラ 一九五六二 八五
メスケ 七八〇貫 三〇
ノドグロ 六八貫 五五
赤魚 一〇〇貫 六〇
バチ 七三三貫 一、八〇
入港船數
入港船 經船
メスケ船
カンコ船
スズキ船
一三一三
入港船 海形丸
宮城縣 野島東南二八〇漕
水溫 二十四度三三
サメ付良好
鯉 五五〇〇

天候豫報

(十六日)
小名濱測候所發表
今晩 驟雨模様あり
明日 南の風時後曇り
氣壓七百五十二純三

常磐論評

酒飲み親子の大関を拾ふた
ら江名町中善吉俵三郎
兩人に軍配が揚がるであら
う、飲めば到る處に大道を
測歩して信念を吐露する。
但し自分のみが知つて相手
には更に通じない所謂田中
式論法とでも言ふか滔々た
る辨舌は相手を緘口せしむ
る辨舌が不明の爲め回答者
が出來ない、父親は純然た
る善人で飲めば慷慨悲憤、
人の道を説くが如く聲淚共
に下るの概がある。俵三郎
郎君は親爺に輪を掛けた現
代味があり註悪い意味の現
代味、同じ飲むにも邪氣が
ある、如何に親子と云ひ似
たもの親子の癖が一致して
居る。

陳情と効果? 何々町の陳
情何村陳情、到る處聞く處
皆陳情である、人間と人間
の交渉だから接近すれば人
情味が出る、陳情に行くと
代議士や知名の士を動かさ
共に依頼する、過順に於て
は其の陳情が一番猛烈の處
程成功して居る、五十萬の
事業起すとして十萬圓は
費用として費しても差引四
十萬の利益だと云ふ筆法で
やられたら當道者も事務
上の點にも支障を來すこと
になるが、事實は反對で寧
ろ煽動して居る嫌がある國
と縣とに拘らず當局者は漁
港なり鐵道なり事業を起さ

んとすれば立派な技術者を
派し是と信する位置に斷乎
として施設すべきで陳情團
の回数により左右すべきで
でない、何故に陳情者に色
眼など使ひ誘發するか、地
方人としても土地を愛する
意味よりして村又は町の貴
重な金を其の方面に湯水の
如く使ふ、夫れも地方開發
の爲めの主要なる資金とし
てあきらめて居るが當局
者として断然たる出頭陳情
を禁じ陳情の筋は全部書類
のみと嚴達したならばどう
ゆう結果になるか、陳情方
面に於ては几帳を省き當局
郎君は親爺に輪を掛けた現
代味があり註悪い意味の現
代味、同じ飲むにも邪氣が
ある、如何に親子と云ひ似
たもの親子の癖が一致して
居る。

も否でもの情實に端を發し
黨本意の施設を旺に行はれ
れば何人も記憶にあるが、
甲黨内閣が瓦解すると當時
の事業は瓦解と内閣と運命
を共にした國幣の損失は實
に驚くべきであつた。今や
舉國一致の内閣が、出來國
民は上下一致支援の心意氣
で居る、此の時此の際断然
幣風を一掃し陳情團の直接
噴願は嚴禁し陳情の向き
は書類のみに依ること、な
ごにするは國家として、な
人も地方町村長も大いに助
かすことになる譯であ
る。

寫眞器

明るい場所
奇麗な寫眞が
誰でもすぐ出
来る



トーゴカメラ 貳圓より
附 屬 品 共 拾五圓まで
平町驛前通り

トーゴカメラ店

長品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント代理店

久釜屋商店
磐城平町五丁目
電話九番九九九番
東京振替貯金口座一〇九五六

三井生命保險株式會社代理店
諸橋久太郎
眼科専門

鈴木科眼醫院
本院 植田町
分院 小名濱町古港

三井生命保險株式會社
大正火災保險株式會社
代理店
磐城水産工業株式會社
小名濱町築港内
電話一四四番

一般外科 (整形外科)
内 科 花柳病科

草野醫院
小名濱町
電話一七三番

電話一七三番

よりより
5.00
靴 繕
1.00
注文
平屋靴店
小名濱局隣



内科外科
花柳病科
小兒科
會田醫院
院長 會田亮
小名濱町上横町

親切 KS 第一
船舶用電氣
各種蓄電池
各種蓄電池
捲替修理
各種電球
販賣
磐城小名濱町
スマヤ電氣部
ケーエス商會
店主 小濱敬太郎
電話一五九

神經系一般の新しい
治療を致します
脊柱調整院
小名濱西町
院長 大 高 進

竹細工一式
諸龍製造販賣
竹類販賣
西山竹細工店
小名濱上横町
白土鍛冶屋向
▼大勉強は御期待に添ふ迄

江名町軌道會社向
高級賣藥販賣 布袋屋百貨店
胃腸専門藥
健胃
麻苺散
定價 三十錢
五十錢

胸腹の痛み、さしこみ、胃弱、消化不良
効能 嘔氣、嘔吐、食過ぎ、過飲、胃擴大、悪心
胃加答兒、驅虫等に絶大なる特効あり



吳服類は
樋口吳服店
小名濱町中島通り

募集
營業部 一名 (小名濱)
年齢と學歷を問はず眞剣味の人
配達夫 十五才以上の學生又は住込人可
右至急募集す
日常磐新聞社